

熊本県地域子育て支援センター連絡協議会（熊本子育てネット）

平成23年度

# 自然保育活動指導者養成講座

## 実施報告書



【日時】 以下の通り合計4回実施

- 第一回 平成23年7月15日(金)13時30分～16時
- 第二回 10月26日(木)13時30分～16時
- 第三回 12月 2日(金)13時30分～16時
- 第四回 平成24年2月10日(金)13時30分～16時

【場所】 熊本県八代郡氷川町立神648-4 立神峡里地公園 研修室および里地屋敷

【講師】 幸山 昌生

立神峡里地公園館長(環境教育担当)、熊本県ネイチャーゲーム協会理事、  
森林インストラクター、CONE コーディネーター、PLT ファシリテーター。

【ねらい】

今回、企画した内容は保育、幼児教育に携わる方々にとって、取り組み始めやすい「ネイチャーゲーム」や「森のようちえん」「森のおさんぽ」、そんな体験型活動を中心に計画しました。

そこで大切にしたことは、自然に対する知識や経験が少なくても、誰もが取り組みはじめる事ができることでした。自分がまずは感じてみる事、感じた事を相手に伝え共感、共有すること、それらを通じて、お互いがわかちあひながら、自然との距離を縮めるねらいでした。

まず初年度は入門編として、保育者ひとり一人が実際に「センスオブワンダー」を実感できるような内容を考えました。四季折々の自然や天候を体感してもらい、自然への気づきや自然との一体感を自覚するところから入り、参加者同士でのふりかえりやわかちあひを通じて、シェアリングネイチャーを共有することを大きなねらいとしました。（幸山）

【各回の内容】

第一回 森へおさんぽへ行こう1 夏 7月15日

参加者18名

～ センスオブワンダーを感じて～

・森のようちえんの説明 / 活動紹介(ビデオ、写真)

・副読本「センス・オブ・ワンダー」紹介と輪読

・野外活動 ネイチャーゲーム

<ノーズ>、ハチの特徴、対応について事前学習

<音いくつ> 静かに耳をすます。

<バードコール> 二人一組になって鳥と会話する。

<フィールドビンゴ「太陽と風」> はだしになったりして、多様な感覚をよびさます。

<自然だいすきだいじさがし> 穴のあいた落ち葉を使って生態系に想いをよせる。

・ふりかえり



～ 第一回 研修室のようす～



～ 野外での<音いくつ>～



～ はだしになって太陽と風を感じて～



～ 森で落ち葉のにおいを～



～ 古民家の縁側で～



～ ふりかえりとわかちあい～



第三回 森へおさんぽへ行こう3 初冬 12月2日

参加者16名

～自然へのイメージーションと危険予知～

- ・「センス・オブ・ワンダー」輪読と前回のふりかえり
- ・危険予知について
- ・野外活動
- ・ふりかえり



～危険予知について～ スライドを使って、2班にわかれて危険を予測して話し合いました

第四回 森へおさんぽへ行こう4 早春 2月10日

参加者18名

～早春の芽吹きをを見つけよう～

- ・「センス・オブ・ワンダー」輪読と前回のふりかえり
- ・野外活動
- ・修了の会～活動のふりかえり～



輪読



～冬水田んぼにカエルの卵が～



～木ともだち～



～落ち葉の森で大地にふれて寝ころんで～



～おたがい手伝いあって～



～みなさんのいいお顔～



～ひとりひとりの感想をわかちあい、修了～